



リケンテクノスグループは、 顧客の期待の先を行くチャレンジメーカーとして、 企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けます。

当社は、1951年に、塩化ビニル樹脂加工を事業の柱とする「理研ビニル工業株式会社」として設立されました。国立研究開発法人「理化学研究所」の流れを汲んだ民間企業として、限られた資金の中「人と技術」のみを強みとするベンチャー企業として出発しました。

創業以来培われてきた合成樹脂加工に係わる総合的な技術をベースに、塩ビコンパウンドやフィルム、日本初となる塩ビ食品包装用ラップ、熱可塑性エラストマーコンパウンドの開発・製造・販売に挑戦し、実現してきました。現在では、これらの製品は資源の有効活用や省エネルギー化への貢献をはじめ、環境負荷を低減する素材・製品として当社の事業の柱となっています。

2001年に「リケンテクノス株式会社」へと社名を改め、現在は「トランスポーターション」「デイリーライフ＆ヘルスケア」「エレクトロニクス」「ビルディング＆コンストラクション」の4つの市場別セグメントを柱に、国内外で事業を展開するグローバル企業へ成長しています。

当社はベンチャー企業からグローバル企業へ成長してきましたが、「人と技術」が一番の強みであり、前例にとらわれず挑戦し、豊かさ、安心、快適を創り出すことを使命とすることは変わりません。すでに見えている顧客の期待を上回るだけで満足することなく、常に時代の先を読み、まだ顕在化していないお客様や市場の隠れたニーズを先回りして実現する企業でありたいと考えています。

創業当時のチャレンジ精神・新製品開発・創造性、といったものを明文化するため、2011年の創業60周年には、当社の新たな経営理念として「リケンテクノス ウェイ」を完成させました。「リケンテクノス ウェイ」に掲げている「顧客の期待の先を行く」をはじめとした企業文化を、グループ全体へ根付かせていくことがCEOである私の役割です。

2022年4月には、3か年中期経営計画「Challenge Now for Change New 2024 変革への挑戦」をスタートしました。また、事業の持続的な成長と社会課題解決に真摯に取り組むべく、サステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティを推進する体制を構築しました。

長期ビジョンである「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」を実現するため「リケンテクノス ウェイ」を胸に刻み、果敢にチャレンジしてまいります。

今後とも、倍旧のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

リケンテクノス株式会社 代表取締役 社長執行役員 **常盤 和明**